

緊急赤潮情報R4-1

令和4年5月12日

大分県農林水産研究指導センター
水産研究部北部水産グループ

別府湾（別府市）で有害赤潮プランクトンのヘテロシグマ・アカシオが警戒密度を超えて確認されました。

以下の点を参考にして漁業被害の未然防止に努めて下さい。

本種の注意密度は、5,000細胞/ml、警戒密度は、50,000細胞/mlです。

（ヘテロシグマ・アカシオの留意点）

- ① このプランクトンは、上下移動を繰り返し、日中は表層に、夜間は底層に滞留します。水色や漁模様の急変など、海域監視の強化に努めて下さい。
- ② 特に、漁港内では高密度になる恐れがあります。漁港内での蓄養等は避け、活け〆出荷等の対策を講じて下さい。
- ③ 赤潮の発生や漁模様の変化などが確認された場合は、北部水産グループ、最寄りの県振興局水産班までご連絡下さい。

表1 赤潮プランクトン検鏡結果（東部振興局による採水・検鏡）

調査月日	調査場所	調査時間	採水層(m)	水温(°C)	塩分(PSU)	ヘテロシグマ・アカシオ(細胞/ml)
5月12日	① 亀川	8:40	0	-	-	58,000
	② 日出港	9:10	0	-	-	261
			2	-	-	197
③ 大神	10:42	0	-	-	231	
			2	-	-	1

